

災害時用バンダナ

<作成目的>

災害時に、聴覚障がい者は避難所等において、情報が届かないために支援から取り残されるという現状が報告されています。

この現状を少しでも軽減する方法の一つとして、バンダナを活用し、みずからが障がいがあるということを周囲に伝え理解をしてもらうことができます。また、支援する側も同様に表示することで、迅速な支援につながる有効な物です。



1

<作成の背景>

平成28年度行われた「災害ボランティア設置運営演習」にろう者と手話通訳者・手話奉仕員が参加しました。

その後の反省から、「自分も当事者として、聞こえないことを発信していかないといけない」、「手話ができる人の目印があれば助かる」等の意見が聞かれました。

そのことを契機に、手話奉仕員研修会や手話サークルでのひら内で意見集約を行い、バンダナのデザインの検討・作成を始めました。



2

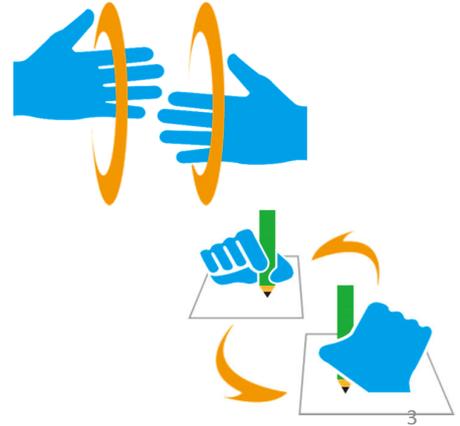


耳のかたち

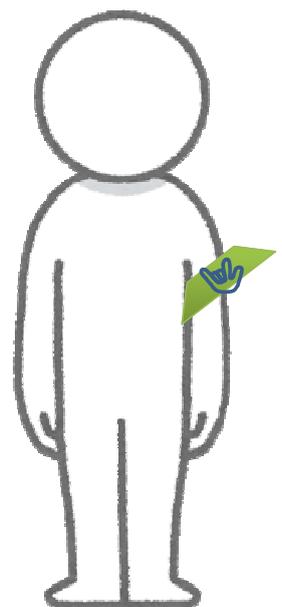
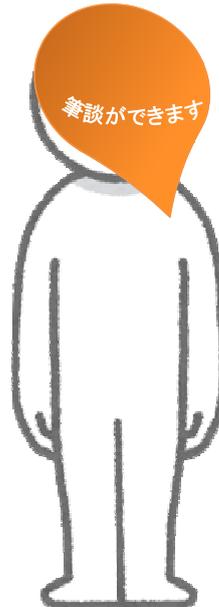
手話
I Love You



全日本ろうあ連盟作成
手話マークと筆談マーク



使い方



バンダナは、上記の目印としての役割だけでなく、防寒対策や、怪我をした際の止血やマスク、手ぬぐいなど…いろいろな使い道があります。
災害は、いつどこで起きるかわかりません。いつも携帯して、活用して頂けることを願っています。